

令和6年第2回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菊池 美穂	6	長谷川る美
2	須藤 義	7	出川 博一
3	浅野 直子	8	渡邊 清美
4	畠山 由美	9	小松 大介
5	青柳 信義	10	畑山 和晴

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	5月28日(火)
受付時間	8:49

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 半導体とDXを軸とした今後の地方創生を問う

【質問要旨】－簡明に－

全国的に少子高齢化や人口減少が進み、1人当たりGDPの順位も年々下がっている中、衰退する地域とにぎわいを取り戻す地域を分けるのは、人への投資やDXの推進、活用施策の有無であり、今こそ地方創生の在り方を見直す、転換期です。

本市では、隣接する仙台市に立地する最新鋭の放射光施設ナノテラスが、4月から正式に運用を開始し、また、大衡村に半導体大工場の建設も計画されており、工場稼働に向け、従業員や関連企業の本市への流入も期待もされることから、早急に理系人材や産業の育成・確保、デジタル基盤の整備を進める必要があります、熊本県の前例を参考に、学校教育やリスクリングにも目を向けるべきです。

その中で、本年3月、コンソーシアム（協議会）の立ち上げについて報道がありました。

成田二期北工業用地も見据えた企業誘致にあわせ、産官学の連携を通じ、デジタル技術教育・アントレプレナーシップ（起業家精神）教育や、理系教育の強化による人材育成、また、デジタルを活用した既存企業の競争力底上げ、今後の街づくりへの学生の参画を進めるための施策について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 産官学連携によるコンソーシアム（協議会）について。
- 2 コンソーシアムの中でのそれぞれの役割と、具体的な事業内容、財源について。
- 3 どのような将来像を想定している・目指しているのですか。
- 4 理系人材の育成・確保の必要性について、見解は。
- 5 人材育成のための学校教育、また、リスクリングへの考えは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	5月28日(木)
受付時間	9:35

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	須藤 義
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 認知症対策の更なる充実を

【質問要旨】－簡明に－

市民の方々から、認知症対策の更なる充実について要望する声が届いています。本市は高齢化率が県内市町村の中でも低い状況にはありますが、それでも令和5年に高齢化率が22.5%となり、超高齢化社会を迎えております。また、来年令和7年には団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となり、認知症を取り巻く課題は今以上に複雑化していくことが予想されます。

こうした中、本市では「富谷市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」が策定され、保健福祉総合支援センターや各圏域の地域包括支援センターを中心に各種施策が行われており、関係各所の皆様の尽力には大いに敬意を表したいと思います。

今後も本市において認知症をめぐる施策が更に充実したものとなり、当事者の方や介護に携わるご家族、関係者の方々が「富谷に住んでよかった」と思えるまちづくりの一助となることを願って、以下のとおり質問致します。

【質問項目】－列記－

- 1 本市が実施する認知症対策施策についての評価と課題について伺います。
 - ① 「認知症家族の会」および「認知症カフェ」について。
 - ② 「黒川地区SOSネットワークシステム」について。
 - ③ 「二次元コードシール」通称「みまもりシール」について。
 - ④ 「成年後見制度」の運用について。
- 2 新たな認知症対策施策導入についての見解は。
 - ① 「医療従事者を対象とした認知症対応力向上研修事業」への参加費助成について。
 - ② 「認知症地域連携パス」通称「オレンジ手帳」について。
 - ③ 公費高齢者施設の整備または入居費用の助成について。
 - ④ 認知症の「個人賠償責任保険」について。
 - ⑤ 災害時、避難所でのサポート体制について。
 - ⑥ GPS機器の助成について。
 - ⑦ 早期発見のための「MCIスクリーニング検査」について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	5月28日(火)
受付時間	10:53

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 難聴・聴覚支援について

【質問要旨】－簡明に－

高齢化に伴う支援の拡充について求められる課題解決をより迅速に日常生活の中で実感できる取り組みが求められています。

特に、記憶低下、目や耳、足などの老化は自分自身でも変化に気づくことが分かる現象です。

本市におきましては、補聴器の購入費2万円を補助する支援が開始され、利用者も増加していると思われませんが、聴力40デシベルの要件を満たす必要があります。

加齢による難聴は避けられない場合が多く、あらゆる年代に対する支援として自治体や銀行、警察の窓口などでも軟骨伝導イヤホンの導入が進められていますので、見解を求めます。

また、聴覚や発話に困難のある人の緊急時の備えとして大変有効な電話リレーサービスを利用できるための推進と周知啓発についても本市の取り組みを伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の難聴・聴覚支援の取り組みについて見解を求めます。
- 2 他の自治体において30デシベルでの支援や補助額の増額もあるが、本市の見解を求めます。
- 3 公共施設等の窓口では、耳が聞こえづらい市民に対してどのような対応となっているのか見解を求めます。
- 4 軟骨伝導イヤホンの公共施設への導入について見解を求めます。
- 5 聴覚や発言に困難のある人と聴覚障害者等以外の人との会話を電話で即時つながる電話リレーサービスの推進と周知啓発の見解を求めます。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 政策の円滑化は図られていますか

【質問要旨】－簡明に－

今般、国の施策の方針に「少子化対策」として、特に「こども未来戦略」が示され、様々な子育て世代に対する支援策が推進されました。子どもを安心して生み育てられる環境整備に児童手当の拡充や出産育児一時金の引き上げ等、多様な切れ目のない取り組みとなっており、子育て世帯に寄り添った内容です。

また、新法施行により新たな女性支援として、女性支援特設サイト「あなたのミカタ」がありますが本市の登録がありません。相談体制の充実は図るべきであると思います。重層的支援体制事業もはじまり、多機関連携で支援に繋がっていますが、関係者の調整役となる「コミュニティソーシャルワーカー」などの育成について、見解を求めます。

最後に、女性の子宮頸がんのリスクを減らす、男性へのHPVワクチンの接種周知や助成に関する見解を求めます。

【質問項目】－列 記－

- 1 保育ソーシャルワーカー（地域連携推進員）の導入についてお伺いいたします。
- 2 困窮・性被害などの困難を抱える女性支援の新たな相談サイト（あなたのミカタ）に、県内で本市の登録がありませんが要因をお伺いいたします。
- 3 「コミュニティソーシャルワーカー」の育成や増員についての考えをお伺いいたします。
- 4 女性の子宮頸がんワクチン接種補助事業の今年度終了のキャッチアップ対象者への周知は個別通知で対応していただきました。今後の周知と男性へのHPVワクチン接種の周知助成についての考えを求めます。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	5月28日(火)
受付時間	11:11

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	畠山 由美
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 「認知症と共に歩む街づくり」について

【質問要旨】－簡明に－

本年1月、政府は認知症に特化した法律「認知症基本法」を施行しました。これにより新しい認知症観が明示され、まず、認知症は他人事ではなく、わがこととして捉え、認知症の人の人権を尊重し、言葉や視点を大切にして、「認知症になっても、ともに希望を持って生きることができる『共生社会』の実現」を目指した対策の拡充が要望されています。

本市では既に、『高齢者のためのケアパス』令和6年度版を発行し、認知症になった場合の相談場所・医療・利用できるサービスやサポートをわかりやすく示しており、家族支援・居場所の提供・地域の見守りなどの様々な事業を施行しています。しかしながら、近い将来、高齢者の3人に1人が認知症になり得る時代において、認知症の人やその家族が自分らしく、安心して暮らせるまちづくりを目指すためには、行政だけではなく、市民の理解が深まり地域ぐるみでサポートすることが重要になります。

「認知症と共に歩む街づくり」の実現に向けて、以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 政府は全国の市町村に「認知症施策推進基本計画」の策定を努力義務化しておりますが、本市の見解をお伺いいたします。
 - 2 「新しい認知症観」を市民の皆様に普及啓発することや、学習の機会を確保するための取り組みについてお伺いいたします。
 - 3 認知症サポーター及び認知症パートナーの養成に向けた取り組みについてお伺いいたします。
 - 4 認知症に関する地域づくり及び官民連携の施策について、本市の見解をお伺いいたします。
 - 5 認知症の発症及び症状進行の予防に関する施策についてお伺いいたします。
 - 6 認知症の人が社会とつながるため、外出支援や就労支援に関する施策についてお伺いいたします。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 特殊詐欺被害防止について

【質問要旨】－簡明に－

連日テレビや新聞紙面で特殊詐欺被害のニュースが掲載されております。宮城県においても、令和5年度の特種詐欺被害額は9億円を上回る金額に達しております。特種詐欺グループは国内外に多数あり、詐欺の手口が巧妙化し、欺される対象も高齢者に留まらず、若年層まで及んできており、被害の状況は深刻です。被害の半数以上が、固定電話機に電話がかかってきたことが発端となり被害に遭っています。

本市においては、迷惑電話防止機能付き電話機設置に助成するなどの防犯対策を施行していますが、今後はより一層、市民の皆様が、特種詐欺被害に遭わないための対策が必要になると思います。市民の皆様の安心・安全な暮らしを守る対策について以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 市民の皆様への特種詐欺被害を防止する取り組みはどのようにしていますか。
- 2 高齢者の方に対してはホームページだけではなく、常日頃から“目で見える確認”と、“声で聞く確認”が必要だと思っております。回覧や防災無線を活用する取り組みについて本市の見解をお伺いいたします。
- 3 迷惑電話防止機能付き電話機の助成金の活用状況をお伺いいたします。
- 4 警察署との連携はどのようになっているのかお伺いいたします。
- 5 警察署による直近の情勢や詐欺の手口、防犯対策などの講話等を、各公民館などで開催して、より身近に防犯の意識付けに力を入れる取り組みが必要と考えますが、本市の見解をお伺いいたします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	5月28日(木)
受付時間	11:31

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 中学生の制服について

【質問要旨】－簡明に－

本年2月26日付読売新聞の記事によりますと、全国の公立中学校の制服について、学校間で販売価格に最大60,000円の差が生じていることが公正取引委員会の調査で分かりました。

1着当たりの最高額は70,000円を超えているケースもあり、公正取引委員会は取引先のメーカーや販売店の固定化が価格の高止まりを招いている可能性があるとして指摘しています。

公正取引委員会は2022年12月、制服の取引実態を把握するため、公立中学校1,200校（全体の13%）の調査を行い約8割から回答を得ました。

その結果、価格差については女子のセーラー服が最も大きく、最高値の約72,000円に対し、最安値は約12,000円で、60,000円の差となり、男子で最も大きかったのは詰襟で最高55,000円に対し、最安値は13,000円で、42,000円の差がありました。

【質問項目】－列 記－

- 1 中学生の男子制服、女子制服の価格を学校ごとにお伺いします。
男子：ブレザー、スラックス、ネクタイ
男子：詰襟学生服上下
女子：ブレザー、スカート、リボン
- 2 中学校の制服取扱業者名をお伺いします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 小学校和式トイレの洋式化促進について

【質問要旨】－簡明に－

今年度の新小学1年生の保護者の方から「小学校より、入学前に和式トイレを使えるように指導をしておいて下さいという連絡がありましたが、最近では和式トイレを見かけることもなく、どこに行けば和式トイレがあるのでしょうか」という相談がありました。

公民館に問い合わせをしたところ、「幼児学級で保育士さんが指導してあげます」との事で公民館を紹介しご理解を頂きました。

今年4月、地元放送局で「小学校のトイレ事情について」という特集番組を放映していました。その中で、新小学1年生は和式トイレを使ったことがないので、使い方が分からず、向きが分からないとか、どのように使ったらいいのか分からないので事前に練習してくる児童が多いとのインタビューがありました。小学校としては、限られた休み時間でのトイレを済ませるために、和式トイレも使えるようにすればという事も理解をするところです。

健康で安全な学校生活をおくるために、使いやすいトイレを整えるのは重要と捉え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 小学校より保護者へ和式トイレ練習の案内をする場合、公民館と連携して幼児教育で指導出来ますという案内が必要かと思いますが、見解をお伺いします。
- 2 市立小中学校の学校別洋式化率をお伺いします。

議 員 名	青柳 信義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 日吉台公民館の駐車場について

【質問要旨】－簡明に－

本市には6公民館があり、市民のみなさんが豊かに学ぶことができるよう、それぞれの施設で様々な生涯学習プログラムを展開しています。地域コミュニティの場として、地域の幅広い世代の人が気軽に集い、生涯学習の場として、趣味、健康づくり、スキルアップ、学び、生きがい、ボランティア、仲間づくり、地域活動の拠点として有効に活用されています。

具体的には、各公民館の学習講座・教室、ゆとりすとクラブサロン、図書室、未就学児のプレイルーム、子育てサロン・お話し会、学習室、とみや学園、各サークル活動などで活用がなされています。

他にも確定申告、定期健診など地域の住民にとってなくてはならない拠点となっています。

しかし、日吉台公民館の駐車場は数が限られており、イベントなどがある場合、駐車場が満杯となり公民館の利用を控える、という声も聞こえてくることから、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内各公民館の利用可能な駐車場台数をお伺いします。
- 2 日吉台公民館で駐車場の混雑が予測されるイベント、行事名と対応策をお伺いします。
- 3 駐車場の混雑が予測される場合、職員の自家用車の扱いをお伺いします。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	5月28日(火)
受付時間	13:49

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月28日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 認知症施策の強化と共生社会の実現は

【質問要旨】－簡明に－

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が2024年1月1日に施行されました。誰がなってもおかしくないと言う状況にある中で、認知症が正しく理解され、認知症の人が尊厳を保持しつつ、安心して希望を持って暮らせるよう「共生社会」実現を目指し、認知症の人とその家族を地域で支えることは、重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 2024年5月8日に厚生労働省が発表した認知症の高齢者の将来推計に対する見解と、その中での本市の課題は。
- 2 第9期介護保険事業計画に、共生社会の実現を推進するための認知症基本法にある、努力義務とされている認知症施策推進計画を包含とした理由は。
- 3 認知症の予防等も含めた「共生社会」の推進実現に向けた具体的な取り組みは
- 4 「認知症サポーター」の活躍推進に向けた今後の取り組みは。
- 5 企業や職域のさらなる取り組み、小学校へのサポーター養成講座の取り組みなど、サポーター養成講座の拡充についての見解は。
- 6 高齢者のためのケアパスの活用促進についての見解は。
- 7 認知症支援体制の強化のうち、第9期介護保険事業計画にある、見守り支援事業の利用状況と課題、今後の取り組みについて。
- 8 第9期介護保険事業計画の中にある「認知症の人と家族会」の事業の見直しについて。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 新病院誘致について

【質問要旨】－簡明に－

新病院誘致に関して、今後さらなる市民の方たちへの丁寧な説明と、共通の理解の下進めるべきであると考えます。それと並行して、精神医療センター移転までの約5年間で、県が進める「にも包括体制」の整備のために、具体的にどの様に取り組んでいく予定なのか、さらに、新病院誘致により、交通量増加も懸念されますので、そのことも含め以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 明石台地区を含めた地元周辺の市民の方たちを対象とした市主催の説明会を開く考えは。
- 2 土地取得に関し、買い取りに反対する地権者がいる中で、市の慎重な関与が必要だったのでは。
- 3 精神医療センター移転に伴い、精神疾患等への正しい知識と理解が必要であると思いますが、それに対する見解と具体的な方策は。
- 4 「にも包括」体制整備のための具体的な事業内容とスケジュールは。
- 5 新病院誘致により、交通量増加が懸念されますが、今後調査予定はあるのか、さらに明石台から将監トンネルでの渋滞緩和策は。
- 6 泉中央から新病院間へのシャトルバス運行に向けた検討状況は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 効果的な情報発信について

【質問要旨】－簡明に－

ソーシャルメディアは、市民とのコミュニケーションやつながりを強化するためのツールです。市民により伝わる、つながるソーシャルメディアの活用を目指すことは重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における情報発信の現状と課題について。
- 2 ソーシャルメディアにおける情報発信の際、情報の正確さの担保について。
- 3 ソーシャルメディア活用ガイドライン策定に対する見解は。
- 4 市が所有するSNSにて情報発信する際、どの様に媒体ごとにターゲットを絞り、活用場面を整理しているのかについて。
- 5 定例記者会見や市長との懇談会などを、市公式ユーチューブのライブ動画を活用する考えは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	5月29日(水)
受付時間	13:05

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月29日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 起業創業者支援 フォローいかに

【質問要旨】－簡明に－

公募型プロポーザル執行に関する公告（令和5年12月13日）が市ホームページに掲載されました。それによると、

- (1) 業務名 令和6年～7年度 富谷市起業創業支援業務
- (2) 履行場所 富谷市まちづくり産業交流プラザ、富谷市ビジネス交流ベース
- (3) 履行期間 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで
- (4) 事業概要
 - ① 富谷市まちづくり産業交流プラザ「TOMI+」運営支援業務
 - ② 富谷市ビジネス交流ベース「荷宿」運営支援業務
 - ③ 起業家発掘・育成業務
 - ④ 情報発信業務

従来から委託していた「富谷市まちづくり産業交流プラザ」運営支援業務の後継事業と思われませんが、その詳細について質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 事業概要の内容における市の意図は。
- 2 履行期間を2年とした理由は。
- 3 「TOMI+」「荷宿」の指定管理者への検討は。
- 4 運営体制の人員配置に関して、情報開示請求は可能か。
- 5 目標設定における「利用者数」のカウント方法及び5年度目標値とその実績は。
- 6 受託者は「TOMI+」もしくは「荷宿」に入居したのか。
- 7 これまでに、起業された方々（法人・個人事業主）のフォローは。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 75歳以上の高齢者増加率は

【質問要旨】－簡明に－

令和5年12月22日、国立社会保障・人口問題研究所から「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」が公表されました。サブタイトルは、「～2050年の65歳以上人口が2020年を下回る市区町村が全体の約70%に～」と記載されています。

この推計は、将来の人口を、都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたもので、令和2（2020）年の国勢調査を基に、令和32（2050）年までの5年ごと30年間について推定したものです。

この推計人口に対する本市の見解を求めます。

【質問項目】－列 記－

- 1 総人口の推計に対する見解は。
- 2 65歳以上の高齢者人口の増加率に対する見解は。
- 3 本市高齢者保健福祉計画に対する施策等は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	5月30日(木)
受付時間	10:08

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月30日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 障がいに対する理解と学びの機会を

【質問要旨】－簡明に－

「障害者基本計画」では、障がいの有無に関わらずお互いを大切にし、みんなが助けあえる共生社会を目指すとしています。

障がいは、多岐にわたり理解が進んでいないのが現状です。

障がいに対する理解を得るため、小学校低学年から図書等を活用した学びの機会が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市小中学校での障がいに対する理解への取り組み状況は。
- 2 教職員の理解への取り組みの現状は。
- 3 今年度の支援学級への教職員の加配の状況は。
- 4 理解への取り組みとして、図書の活用は。

答弁を求める者 教育長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 8050問題と親なき後への取り組み

【質問要旨】－簡明に－

内閣府の2019年の調査結果で、40歳から64歳の「ひきこもりの中高年者」の推計は、約61万3千人にのぼりますが、様々な理由から外部への相談も難しく、親子で社会から孤立してしまうといった事例も全国では多く聞かれています。

必要な時に、いつでも、誰でも相談できる体制の充実が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市での8050問題への取り組み状況は。
- 2 ひきこもり(成人以降)の実態を把握するための調査を行っていますか。
- 3 市が実施する「ひきこもり医師相談」の周知が必要と思われませんが見解は。
- 4 成年後見人制度の利用状況は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	5月30日(木)
受付時間	10:57

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月30日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市における持続可能な農業のビジョンは

【質問要旨】

3月に視察させていただいた愛知県長久手市では、長久手田園バレー構想という基本計画を基に、市民向けのアンケートやグループディスカッションを実施し「農都共生社会」の実現に向けて実際にアクションを起こしました。直売所には多くの生産者が登録・販売しており、市内外から多くの来客で賑わっています。道の駅は、地域の農業の活性化だけでなく、地産地消の促進、農家と消費者の交流、観光資源など、様々なメリットがあります。本市においても参考になる事例が多く、本市における持続可能な農業のモデルケースとして導入すべきと考え、以下質問いたします。

【質問項目】 一列 記一

- 1 富谷の生産者に対して取っているアンケートの内容は。
- 2 おんないん会で販売している野菜に対する消費者の評価を検証した実績は。
- 3 農業講座の開催や、農園管理代行などを導入し、市民農園を充実させる必要があると思いますが見解は。
- 4 今後、道の駅を建設する意思是。
- 5 農業と都市の融合、「農都共生社会」や、「田園バレー構想」は、同じ都市近郊型農業の本市も参考にすべきと考えますが見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 西成田地区遺跡発掘調査の方向性について

【質問要旨】

遺跡には、富谷に住み暮らしたご先祖様の歴史が刻まれています。ご先祖様がいたから今の自分が存在する。お盆や正月に仏壇にお供え物をするのはそんな信仰から来ている風習です。工業団地建設誘致という経済合理性を重視し、市の財源を確保することは重要です。しかしながら、富谷の地を護り、遺してくれたご先祖様の歴史的財産を後世に伝える事もまた、非常に重要だと考えます。1年間の発掘調査の進捗状況や、出てきた遺物、遺跡の概要はしっかりと市民に周知を徹底し、公開する必要があります。その歴史的価値を評価するのは、専門家はもちろんですが、それ以上に市民一人一人であるべきだと考えます。縄文から中世にかけて続いた遺跡の可能性を考慮すれば、何千年、何万年という途方もない期間、この地を生きた証、もっと言えば魂が刻まれた遺跡です。また、完存する十三塚は全国的にも極めて貴重で、地域によっては国の重要文化財にも指定されています。今回調査する歴史的財産は市民の財産という覚悟をもって発掘調査・検証に臨んでいただきたいという思いから、以下質問いたします。

【質問項目】 一列 記一

- 1 本遺跡の現状保存か、取り壊して文章保存かの判断の決定権と判断時期は。
- 2 本発掘調査の進捗状況の詳細を市民に開示し、周知する意思是。
- 3 現地見学会の開催予定は。
- 4 ドローンによる空撮など、映像ベースでの保存は検討していますか。
- 5 本遺跡は地域に愛着を持つための教育において非常に重要な教材と考えますが、市の見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	5月30日(木)
受付時間	11:30

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 5月30日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 11 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 小・中学生のオンライン異文化交流について

【質問要旨】－簡明に－

以前、あけの平小学校において、オンラインによるインドネシアの子どもたちと交流を図る事業がありました。私も見学に行き、非常に素晴らしい取り組みであると感じました。当時は、産業観光課が行った事業でしたが、毎年継続して行われれば子どもたちにとって大きな体験と経験になるだろうと思っていました。しかし、一回限りで終了と聞き、残念な気持ちになっていました。ICT教育による、1人1台のタブレットの環境がある中、海外に行かずに交流できるツールであり、授業だけでない活用をもっと生かすべきであります。

今後、富谷市及び黒川地区を取り巻く環境は、大衡村に建設される半導体工場P S M Cの影響は大きくなります。熊本県菊陽町の状況をみれば、この地域も同じようになる可能性は見ており富谷市及び黒川地区に外国の方が住むことは十分に考えられます。そのためにも、将来を担う子どもたちへの異文化交流、多言語の教育、それらを学ぶ環境を作ってあげなければなりません。本当の子どもにやさしいまちとは、大人になって「富谷って素晴らしいまちだな」と思った時に成果があるものだと考えています。

富谷の宝、日本の宝である子どもたちが、グローバルに活躍できる環境をすぐに作ることが重要であり、そのタイミングが今です。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 あけの平小学校にて行われた、お試しイノベーションが継続しなかったのは、予算的な問題であったのか。当時はどれほどの費用がかかっていたのか。
 - 2 あけの平小学校で行った際の先生方の評価や子どもたちの反応は。
 - 3 大衡村にP S M Cの半導体工場が建設されますが、外国人が増えることによる、特に英語教育に関してどのような方向性を考えていますか。
 - 4 熊本県菊陽町の現状を研究し、特に外国人との接点の部分で参考にできることが多々あると思いますが、大衡村のP S M Cが稼働する前の今だからこそ、異文化交流、多言語教育(英語、中国語)に予算を取るべきであると思いますが、見解は。
-

答弁を求める者 教育長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 公用車のドライブレコーダー設置について

【質問要旨】－簡明に－

2023年にソニー損害保険株式会社がドライブレコーダーの装着率を調査したところ52.5%となっており、ドライブレコーダーを設置しておけば、事故にあった際や、あおり運転を受けた際にも自身に過失がないことを映像記録の証拠として活用できるという理由が多いとの結果です。

現在本市の公用車において、装着していない車輛の方が多い現状をどのように考えているのでしょうか。事故があった際の責任は当然ドライバーにあります。しかし、ドライブレコーダーがあることで過失がないと証明できることにより、職員にかかる事故責任は明確化を図れることとなります。また、公用車と言う特性上、防犯カメラとしての効果も期待できるのではないのでしょうか。

以上のことから、公用車にドライブレコーダーの設置は必須であると考え、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 現在装着されていない車輛がある理由は。
 - 2 職員の事故責任を明確化することができ、迅速で的確な対応をすることができると思います。それによって、職員のリスクヘッジを図れると思いますが、見解は。
 - 3 公用車は、広報のため一般の市民も運転する機会が多くあります。市民のリスクヘッジも図らなければならないと思いますが、見解は。
 - 4 装着に対し、個人のプライバシーなどの問題もあるとは思いますが、規則や要綱を作成し、ルールの下で扱いを管理することで、躊躇なくドライブレコーダーの設置、運用ができると思いますが、見解は。
 - 5 リスクヘッジと言う観点から考えれば、ドライブレコーダー設置における予算は大きくないと思いますが、見解は。
-

答弁を求める者 市長
